

## ■砂防施設の効果（土砂捕捉）

近年、局地的かつ集中的な豪雨により急流河川などで大量の土砂や流木が発生し、深刻な被害が出ています。災害を引き起こす土砂等をくい止め、平常時には下流へ土砂を流す事ができる砂防堰堤の整備に取り組んでいます。

### ■波田黒川第3号砂防堰堤

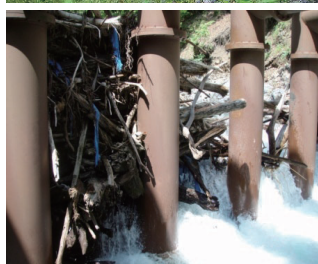
梓川支川黒川は、昭和20年災害により上流域の崩壊による荒廃が著しい溪流であり、河床には当時の崩壊土砂も含め不安定土砂が大量に堆積しています。

洪水に伴う土砂流出によって、下流の松本市安曇地区で氾濫を起こす可能性が高いため、昭和20年規模の災害から地域の安全性を確保するために、砂防施設の整備を実施しています。平成18年7月豪雨により、波田黒川第3号砂防堰堤が土砂や流木を捕捉し、下流域の橋場地区を保全することができました。

#### 土砂・流木流出の捕捉



波田黒川第3号砂防堰堤と橋場地区



被災時 平成18年7月



除石、流木撤去

## ■根木沢砂防堰堤

令和2年7月豪雨により、梓川支川根木ノ沢において土砂が流出したものの、砂防堰堤が流出土砂を捕捉(約2,300m<sup>3</sup>)しました。

毎年100万人以上が来訪する「上高地」及び岐阜県高山市と松本市街地とをつなぐ重要な路線である「国道158号」、そして上高地の玄関口である沢渡地区の被災を防止しました。



根木沢砂防堰堤と沢渡地区

#### 土砂・流木流出の捕捉



被災前 令和元年12月



被災後 令和2年7月